



方劑名稱的由來

充分發揮方劑的臨床效果

洪文旭 編著

立得出版社 印行

- 貫串滋水疏肝一法治療多種肝病，故名一貫煎
- 用香附一味與六種輔料七次炮製，故名七製香附丸
- 有三種處方，分治三類不同的疾病，故名三品錠子
- 如青龍之興雲治水，但依其發汗力強弱而命名「大、小青龍湯」
- 服之可轉危為安，延續生命，故稱小續命湯
- 重用熟地黃以補腎，六種藥物中酸苦甘辛鹹淡六味俱備，名六味地黃丸
- 四磨湯，指四味藥物先磨濃汁再和水煎服的方法
- 止痛效果之佳，使人忍不住發出笑聲，故稱失笑散
- 如真武之神，能以降龍治水，威懾水患，故名真武湯
- 方名為溫膽，實為清膽和胃之劑
- 普救眾生，濟世活人，消除疫毒，故名普濟消毒飲
- 能「引血歸脾」而稱為歸心湯

立
幸福生活的最佳朋友

ISBN 978-957-8990-24-1

00190



9 789578 990241

方劑名稱由來

洪文旭 編著

中國醫藥科技出版社 授權
立得出版社 發行

生活健康百科④

方劑名稱的由來

定價：190元

編 著：洪文旭
發 行 人：劉接寶
發 行 所：立得出版社
社 址：台北市延吉街175號4F
電 話：(02)27216208
傳 真：(02)27511656
郵 撥：01304375 · 劉接寶戶
排 版 者：三輝電腦排版有限公司
印 刷 者：楨文平版印刷有限公司
總 經 銷：紅螞蟻圖書有限公司
地 址：台北市內湖區舊宗路2段121巷19號
電 話：(02)27953656
傳 真：(02)27954100
E-mail：red0511@ms51.hinet.net
發 記 證：局版台業字第1925號

中華民國一〇三年二月第一版 2刷

※版權所有※翻版必究※

內容提要

本書是探討中醫方劑命名涵義的專著。研究中醫學方劑的命名，是學習、運用方劑的主要內容之一。古今方書卷帙浩繁，命名龐雜，對方名進行必要的考證和探討，從中尋求規律和特點，以加強對方義的深刻理解，充分發揮方劑的臨床效果，有著一定的實際意義。作者循《內》、《難》之旨，博採眾說，溯本求源，搜集整理了 245 首常用方劑的方名詮解。

本書曾在《全國中醫藥雜誌》及日本《中醫臨床》雜誌連載、譯載，受到好評，今付梓出版，供同道參考。

方劑命名的規律和涵義

(代前言)

信手打開中醫方書，就會發現一個有趣的問題：中醫方劑的名稱真是名目繁多，琳琅紛呈，變化萬千，各寓深意：固然最初的方劑名稱，如《內經》十三方，東漢《五十二病方》中的許多方劑，其命名的目的不過是為了互相區別，不致使其混淆，有的有藥無名，有的則以其藥命名，非常簡單明了。但到後來，隨著方劑的數量不斷增加，方劑的命名則多寓有一定的涵義，這在不同程度上反映了當時社會、科學、文化發展的軌跡。時至今日，前人遺留下的中醫方劑何止百萬，而不少方名的意義若不加以解釋，則難為今人悉知了。

研究方劑命名的意義，是學習中醫方劑學不可忽視的重要內容之一。因為方劑的名稱，在一定程度上反映了該方劑的組成、功效等有關問題，理解方名意義，對於全面認識、正確掌握該方具有重要作用。由於古今方書卷帙浩繁，方劑命名眾多龐雜，故對其進行必要的考證和探討，從中尋求規律和特點，以加強對方劑的記憶，從而更好地運用於數學、臨床和科研，都有非常重要的意義。

經筆者初步研究，古今方劑的命名規律和涵義，大致有如下幾點：

1. 突出主藥 方劑是在單方專藥治病的基礎上逐步發展起來的，有一個由簡到繁的過程。因此，方劑的配伍都要根據不同的病證，按照一定的原則組合在一起。許多方劑都是

突出方中主藥而命名的：有的僅用一味，如麻黃湯、桂枝湯、炙甘草湯等；有的用二味或二味以上，如銀翹散、參苓白朮散、青蒿鱉甲湯等。也有個別方劑，並不是用主藥命名，而是在配伍中具有特殊意義的藥物，如十棗湯等。

2. 反映組成 此類方劑多屬於藥味組成比較精簡者，用方中一味藥的全名或幾種藥的簡稱組命而命名，如澤瀉湯、百合知母湯、何人飲、參附湯、苓桂朮甘湯等；有的則按藥物的味數或加上主要藥物名稱或其功效而命名，如四物湯、五皮飲、四神丸、六味地黃丸、九味羌活湯等。

3. 提示療效 此類方劑較多，基本從方名上提示了方劑的性質和治療範圍。有的按主要功效而命名，如清營湯、增液湯、大小建中湯、通竅活血湯等；有的則以其藥理作用再加主要功效而命名，如生化湯、血府逐瘀湯、復元活血湯等；有的按作用機制而命名，如承氣湯類、清骨散、玉屏風散等；有的按主治病症而命名，如四逆湯、止嗽散、消瘰丸、牽正散、痛瀉要方等。

4. 借喻典故 此類多數借喻於自然界或生活中的事物或現象，或帶有濃厚的神秘色彩詞語來命名，因此大多晦澀難懂。其中以五色應五臟命名的，如導赤散、瀉白散、益黃湯、黃龍湯、瀉青丸等；有的取義五行八卦而命名，如左金丸、金水六君煎、坎離既濟丸等；有的以含蓄借喻方式而命名，如縮泉丸、更衣丸、濟川煎、失笑散、回春丹等；有的則帶有神秘色彩，如白虎湯、青龍湯、真武湯、玉女煎、仙方活命飲、天王補心丹、甘露消毒丹等。

5. 說明衍化 這些方劑大都在祖方的基礎上加減化裁而成，故其方名多與祖方有引申衍化關係，如四君子湯加陳皮、半夏名六君子湯；四物湯合四君子湯名八珍湯；八珍湯加黃

耆、肉桂名十全大補湯；柴胡湯合桂枝湯名柴胡桂枝湯；平胃散合五苓散名胃苓散等。

6. 標明特徵 這類命名方式多種名樣，不一而足。有的按用藥劑量，如七厘散、九分散、六一散；有的按服藥時間，如雞鳴散等；有的按藥物採集炮製，如二至丸、二陳湯、四生丸、十灰散等；有的則按用藥方法，如四磨湯等等。

總之，中醫方劑的命名形式多樣，涵義複雜，實有加以整理詮解之必要。為了使廣大讀者了解方劑命名的本義，我們選擇了常用方劑 245 首（附方 60 首），經過反覆查閱有關辭書、資料，溯本求源，探古閱今，循名責實，以義類名，進行了整理編寫工作，供同道參考，並請批評指正。

本書部分內容，曾在《全國中醫藥雜誌》等雜誌發表，及日本《中醫臨床》雜誌亦以「漢方名稱由來」連續譯載，博得好評。

本書承蒙陝西中醫學院方劑教研室何倫副教授審閱，謹此致謝！

洪文旭 蘇禮

目 錄

〔一劃〕

一字散.....	(1)
一抹金.....	(1)
一貫煎.....	(2)
一捻金.....	(2)

〔二劃〕

二至丸.....	(3)
二仙湯.....	(3)
二妙散 (附：三妙丸、四妙丸、三妙散)	(4)
二陳湯 (附：枳砂二陳湯、枳橘二陳湯)	(4)
十灰散.....	(5)
十棗湯 (附：控涎丹)	(5)
十香返魂丹.....	(6)
七氣湯.....	(6)
七仙丹.....	(7)
七厘散.....	(7)
七寶美髯丹.....	(8)
七製香附丸.....	(8)
九分散.....	(9)
八正散.....	(9)
八珍湯.....	(10)

方劑名稱由來

人參養榮湯 (附：人參養營湯)(10)

[三劃]

三仁湯.....	(11)
三消湯.....	(12)
三拗湯 (附：五拗湯)	(12)
三痺湯.....	(13)
三品錠子.....	(13)
三子養親湯.....	(14)
三才封髓丹.....	(14)
三甲復脈湯.....	(15)
三品一條槍.....	(15)
三物備急丸.....	(16)
大定風珠.....	(16)
大補陰丸.....	(17)
大青龍湯、小青龍湯.....	(17)
大承氣湯、小承氣湯.....	(18)
大建中湯、小建中湯 (附：黃耆建中湯)	(18)
大陷胸湯、小陷胸湯.....	(19)
下瘡錠.....	(19)
干頹湯.....	(20)
千捶膏.....	(20)
川芎茶調散 (附：菊花茶調散)	(21)
小續命湯.....	(21)

[四劃]

天王補心丹.....(23)

目 錄

天台烏藥散	(23)
五皮飲（附：七皮飲、全生白朮散）	(24)
五色丸	(24)
五苓散（附：四苓散、春澤湯、茵陳五苓散）	(25)
五瀉湯	(25)
五淋散	(26)
五痺湯	(26)
五瘻湯	(27)
五子衍宗丸	(27)
五味消毒飲	(28)
五疳消食丸	(28)
五虎追風散	(29)
五獸三匱丸	(29)
止嗽散	(30)
中滿分消湯	(30)
水陸二仙丹（附：水陸三仙丹）	(31)
月華丸	(31)
內消沃雪散	(32)
化蟲丸（附：《醫方集解》、《證治準繩》化蟲丸）	(32)
勻氣散	(33)
午時茶	(33)
牛郎串	(34)
手拈散	(34)
升降散	(34)
升陷湯	(35)
升陽益胃湯	(36)
六一散（附：益元散、碧玉散、雞蘇散）	(36)

六和湯 (附：《太平惠民和劑局方》六和湯)	(37)
六味地黃丸.....	(37)
火鬱湯.....	(38)
引火湯.....	(38)
孔聖枕中丹.....	(39)

[五劃]

玉女煎.....	(39)
玉環煎.....	(40)
玉真散.....	(40)
玉燭散.....	(41)
玉肌散.....	(41)
玉匙匙.....	(42)
玉容散.....	(42)
玉泉丸.....	(43)
玉屏風散.....	(43)
左金丸 (附：戊己丸)	(44)
左歸飲、右歸飲 (附：左歸丸、右歸丸)	(44)
石斛夜光丸.....	(45)
正容湯.....	(45)
平胃散 (附：不換金正氣散、胃苓散)	(46)
布袋丸.....	(46)
甘露消毒丹.....	(47)
四生丸.....	(47)
四物湯 (附：聖愈湯)	(48)
四維散.....	(49)
四逆湯 (附：四逆散)	(49)

目 錄

四神丸 (附：二神丸、五味子散)	(50)
四磨湯 (附：五磨飲子、六磨湯)	(50)
四君子湯 (附：異功散)	(51)
四色斷癥丸.....	(51)
四妙勇安湯.....	(52)
生化湯 (附：加參生化湯)	(52)
生脈散 (生脈保元湯、人參飲子)	(53)
代刀散.....	(54)
代杖丹.....	(54)
代針散.....	(54)
仙方活命飲.....	(55)
白虎湯 (附：白虎加入參湯、白虎加蒼朮湯、白虎加桂枝湯)	(55)
白雪糕.....	(56)
失笑散.....	(57)
半夏瀉心湯 (附：生薑、甘草，附子與大黃黃連瀉心湯) (57)	

〔六劃〕

至寶丹.....	(59)
地黃飲子.....	(59)
百合固金湯.....	(60)
回春丹.....	(60)
舟車丸 (附：舟車神祐丸)	(61)
血府逐瘀湯.....	(61)
安宮牛黃丸.....	(62)
安奠二天湯.....	(62)
交泰丸.....	(63)

方劑名稱由來

如意金黃散.....(63)

[七劃]

更衣丸.....(64)

坎離既濟丸.....(65)

完帶湯.....(65)

防風通聖散.....(66)

[八劃]

抱龍丸.....(67)

抵當湯（附：抵當丸）.....(67)

奔豚湯.....(68)

厚朴溫中湯.....(68)

青娥丸.....(69)

抽薪飲.....(69)

固衝湯.....(70)

虎潛丸.....(70)

金鈴子散.....(71)

金鎖固精丸.....(71)

定志丸.....(72)

定喘湯.....(72)

河車大造丸.....(73)

[九劃]

保元湯.....(73)

保和丸（附：大安丸）.....(74)

宣痺湯.....(74)

目 錄

宣白承氣湯.....	(75)
飛龍奪命丹.....	(75)
風引湯.....	(76)
活絡丹（附：大活絡丹）.....	(76)
建瓴湯.....	(77)

〔十劃〕

泰山磐石散.....	(78)
秦艽扶羸湯.....	(78)
真武湯.....	(79)
真人養臟湯.....	(79)
振頽丸.....	(80)
桃花湯.....	(80)
梅花點舌丹.....	(81)
桂枝新加湯.....	(81)
咯血方.....	(82)
消風散（附：《太平惠民和劑局方》消風散）.....	(82)
消瘰丸.....	(83)
海藻玉壺湯（附：玉壺散）.....	(83)
逍遙散（附：丹梔逍遙散、黑逍遙散）.....	(84)
益氣聰明湯.....	(84)
透膿散.....	(85)
通關散.....	(85)
通幽湯.....	(86)

〔十一劃〕

理中丸.....	(86)
----------	------

方劑名稱由來

救急稀涎散	(87)
混元膏	(87)
清空膏	(88)
清骨散	(88)
清海丸	(89)
清絡飲	(89)
清震湯	(90)
清魂散	(90)
清氣化痰丸	(91)
清燥救肺湯	(91)
徙薪飲	(92)
達原飲	(92)
達鬱湯	(93)
補中益氣湯	(93)
補陽還五湯	(94)
敗毒散 (附：倉廩散)	(94)
牽正散	(95)
黃龍湯	(95)
都氣丸	(96)
涼膈散	(96)

[十二劃]

斑龍丸	(98)
越婢湯	(98)
越鞠丸	(99)
趁痛散	(99)
散偏湯	(100)

目 錄

紫雪丹	(100)
黑錫丹	(101)
溫膽湯	(101)
溫經湯	(102)
滋胰飲	(102)
痛瀉要方	(103)
普濟消毒飲	(103)
疏鑿飲子	(104)
開噤散	(104)
華蓋散	(105)
陽和湯	(105)
腎氣丸 (附：濟生腎氣丸)	(106)
腎著湯 (附：腎著散)	(106)
復脈湯	(107)
復元活血湯	(107)
敦復湯	(108)

〔十三劃〕

萬應錠	(108)
暖肝煎	(109)
脾約麻仁丸	(109)
資生健脾丸	(110)
滋壽解語湯	(110)
葆真丸	(111)
萱草忘憂湯	(111)
葛花解醒湯	(112)
萆薢分清飲 (附：《醫學心悟》萆薢分清飲)	(102)